

海外感染症流行情報 2025 年 5 月

(1) アジア:各地で COVID-19 の流行再燃

5 月に入り、アジア各地で COVID-19 の患者数が増加しています(WHO 西太平洋 25-5-9、WHO 南東アジア 25-5-21)。タイでは 1 週間の患者数が 5 万人を越え、香港、シンガポール、インドなどでも患者数が増加しています。ウイルスの種類は、オミクロン株 JN.1 系統に属する新変異株の NB.1.8.1 が多く検出されています(WHO COVID-19 25-5-23)。日本でも沖縄県で患者数がやや増加傾向にあり(厚生省 25-5-23)、夏の流行への警戒が必要です。

(2) アジア:蚊媒介感染症の流行状況

アジア各地でデング熱の流行が発生しています(WHO 西太平洋 25-5-15、WHO 南東アジア 25-5-28)。患者数は全体的に例年並みですが、フィリピンやフィジー、タヒチなど南太平洋の国々では、例年以上の患者数が発生しています(米国 CDC Traveler's Health 25-5-22)。

一方、スリランカやモーリシャスなどインド洋の国々ではチクングニア熱の流行が拡大しています(米国 CDC Traveler's Health 25-5-12)。とくにレユニオンでは、昨年 8 月からの患者数が 4 万人以上にのぼっています(WHO 25-5-12)。アジアでは蚊の増える雨期が始まっており、滞在時には蚊の吸血を防ぐ対策をとるようにしましょう。

(3) アジア:パプアニューギニアでポリオ感染者が発生

パプアニューギニアでワクチン株由来の 2 型ポリオウイルス感染者が 2 例確認されました(WHO 25-5-20)。感染者が発生したのは同国北東部のラエ市で、感染者に症状はありませんでした。隣国のインド

ネシアでもポリオ患者が発生しており、これらの国々に長期滞在する際には、事前にポリオワクチンの追加接種を受けておくことも検討ください。

(4) 北米: 米国などで麻疹の流行が拡大

今年はアメリカ大陸全体で麻疹の患者数が増加しており、4月中旬までに 2300 人以上にのぼっています (WHO 25-4-28)。これは 24 年同期に比べて 11 倍の数です。米国ではテキサス州などを中心に患者数が 1000 人以上にのぼり、このうち 3 人が死亡しました (米国 CDC 25-5-23)。患者のほとんどは小児で、ワクチンの未接種者でした。

(5) 南米: 黄熱の流行拡大

南米では黄熱のアマゾン域外への流行拡大が続いており、24 年末から 25 年 4 月末までの患者数は 212 人 (死亡者 85 人) にのぼっています (WHO 25-5-16)。ブラジルではサンパウロ近郊などで 110 人、コロンビアではトリマなどで 83 人の患者が発生しました。こうした事態を受けて、近隣国であるエクアドルはブラジルやコロンビアからの入国者に、黄熱ワクチン接種証明書の提示を求めています (外務省 海外安全 HP 25-5-1)